

令和7年度牧之原市菊川市学校組合立牧之原中学校 学校評価

校長名 小柳津 敏法

1 昨年度の成果〇と課題・

○仲間と協力して物事に真面目に取り組むことができる。	・周りに合わせるのではなく、自分の意志で動くことをめざしている。
○与えられたものをきちんとやり遂げる責任感の強さがある。	・自分たちで考えて行動する場がこれまで少なかったと振り返る。もっと子供に任せたい。
○人を困らせるような行動をしない。優しさがある。	・困難なことに対してくじけてしまう子も見られる。

2 本年度の基本方針（経営の重点）

生徒個々が自身のもつ良さ、課題、可能性を自覚し、新しい時代をたくましく生きていくことができる力を育む学校経営。

①人権感覚をもち、生徒の良さを伸ばすことができる教師 ②自他を尊重し、多様性を認め合うことのできる生徒の育成

- ・ 「ひと・もの・こと」の関わり合いの中で、「主体的、対話的で深い学び」を実現する授業実践
- ・ 豊かな人間性と生きる力を育む特別活動や体験活動の推進
- ・ 小中一貫校に向かって連携を深め、発達段階を踏まえた9年間を見通した中で生徒を育てる教育の推進
- ・ 生徒のもつ特性や多様性を理解し、柔軟に対応する特別支援教育の視点をもった教育の推進
- ・ 持続可能な教育課程の実践と働き方改革の推進

3 具体的な取組

目標	具体的な取組	成果目標	評価	成果〇と課題・
1 子供たちが楽しいと思える授業、分かる授業を行う。	○ICT・生成AIを理由した授業改善。 ○対話を通して学びを深め、子ども同士のつながりを大切にした授業 ○一人一人の個性に応じた合理的配慮と特別支援教育を実施。 ○起郷家教育の実施。	①授業が楽しい②授業が分かるの生徒評価が90%以上	B	①77.9% ②80.9% ○ICT機器や生成AIの利用は充実している。 ○学びに対して積極的な生徒が多い。 ・学力差が課題である。小学校の時の学びが十分でない子供たちが困っている状況にある。 ・学ぶことが困難な子供たちが学校に足を向けなくなっている。
2 子供たちが学校づくりに参加していく	○学校行事、学校の決まりを子供たちが作る。 ○子供たちの考え方や気持ちが大切にされ、実現できる。重点目標を生徒会が作成。 ○協力と団結の良さを味わえる経験ができる。	①学校が楽しい②協働の良さを実感が90%以上	B	①91.2% ②85.3% ○令和8年度の学校の決まりを全校生徒で考えて作成することができた経験が今後生きてくると思われる。 ○令和8年度の重点目標を生徒会本部の子供たちが活躍をしてさくせいできたことがよかったです。

3 お互いに認め合い、尊重することのできる集団になっていく。	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめをしない、させない、負けない心をPTAと一緒に行動する。 ○主体的な生徒会活動を全校で推進していくことの中に、いじめに対する取り組みを行う。 ○まずは教職員が発達支持的生徒指導を推進し、子供たちに手本を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進んであいさつ 90% ②仲間への敬意と尊重 90% ③学校への信頼 90% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ①92.6% ②95% ③77.6% ○委員会等で生徒による主体的な取組が増えてきた。 ○あいさつが全校全体で大変よくできる。 ○尊敬される上級生がその姿で下級生を良い方向に導いている。
4 小中一貫校に向かって、学校、保育園、地域との連携がしっかりとられている。	<ul style="list-style-type: none"> ○令和10年の一貫校に向かって、小中が一緒に挑戦していくものをつくる。 ○9年間の学校の決まりを協力し合って作成手する。 ○コミュニティ・スクールの力を学習に活かす。地域の人とのつながりを大切にする。 ○虹の架け橋プログラム莉意識を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①未来への期待 90% ②合同研修会の実現(年4回) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ①75.1% ②実施した ○一貫校に向かって、保護者や生徒への説明を何度も行い、理解が広がった。 ○教職員が前向きになっている。
5 子どもファーストの考え方をして、子供が挑戦し失敗できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての教育活動において、「子どもの思い・願い」を中心据える。 ○失敗をしながら成長をする考え方を子供も教職員も当然の考え方にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の良さへの気づき 90% ②何かに挑戦 90% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ①86.3% ②調査未実施 ○そのような気持ちが大事であり、自分たちでもっとやってみてもいいんだという気持ちにはなった。今後が楽しみである。